

野馬土の新聞

(Web版)

2021年4月号

特定非営利活動法人
野馬土

相馬市石上字南白髭320
TEL.26-8437
FAX.26-8203



3.11被災地応援フェスティバル出展

東日本大震災から丸十年となる三月十一日、楡葉町のJヴィレッジを会場として、東日本大震災後から被災地での活動を続けてきたアーティストの方々のライブを中心とした『ON G O F T H E E A R T H 3・11』が開催されました。新型コロナウイルスの影響で例年のブース数・観客数とはいかなかったようですが、福島県の“今”を体験できるブースが多数出展されていました。野馬土は、“被災地応援電気”でお世話になっている「みんな電力」ブースの一角をお借りし、そこで活動紹介や福島のおいしい食べものの物販をしました。私達スタッフも“故郷にカエル・ふくしまにカエル”のスタンプで野馬土をPR。来場者が次々と足を止めてくださり、商品の購入を通して福島を応援していただきました。たくさんの方のあたたかい気持ちに感謝です！



心の復興事業 『ほち袋講座』でお勉強

令和二年度の交流事業も残りわずか。そのうちのひとつ『ほち袋講座』を三月一日にカフエ野馬土で開催しました。宮城県在住の玉川亜枝子先生にほち袋の由来や作法を学び、自分でほち袋と水引を作る体験をしました。日頃何気なく使っているのし袋や水引の正しい意味や使い方を知ることができ、とても充実した講座でした。人間いくつになっても勉強なんだな…とつくづく思いました。



家族農林漁業プラットフォーム 第二回幹事会

昨年十一月に始動した家族農林漁業プラットフォームを三月十八日に開催しました。地域の皆さんに活動を知ってもらうためのイベントの企画について九月上旬を目途に準備していくこと、会員の皆さんや同じ目標に向けて取り組まれている団体とのつながりを育てながら、文字通りプラットフォームとして情報発信を行うことなどを確認しました。農・林・漁業のこと、食や環境のこと、地域のみんなで考えていく場づくりの今後の動きにぜひご注目ください。



心の復興事業 琥珀糖&飾り巻き寿司教室

三月十三日、令和二年度最後の交流事業「琥珀糖&飾り巻き寿司教室」を開催しました。琥珀糖とは、寒天を煮溶かし砂糖と色素を加えてつくる「食べる宝石」と呼ばれるお菓子です。いつも飾り巻き寿司でお世話になっている千葉淳子先生にご指導をいただきました。煮詰めた寒天液に色付けする工程が一番盛り上がる＆無言になる時間！笑冷蔵庫で固めてから手でちぎったり型で抜き、そのまま一週間ほど乾かして完成。参加者さんに大満足していただき、無事に今年度の交流事業がすべて終了しました。来年度も楽しい交流事業が開催できるよう頑張ります！



第六回野馬土理事会開催

今回の理事会では、主に二〇二一年度からの役員体制について協議し、職員数減少での仕事の増加は合理的に見直し対応することになり、改めて野馬土の目的である「相馬地方をはじめめとする福島県の地域及び農業復興に寄与すること」の達成に向け活動していくことが決定されました。今後、野馬土・浜通り農産物供給センター・農民連が互いに協力しながら進んでいきたいと思えます。

